

鬼火駕籠 (1957)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1957/11/10

【解説】

「弥太郎笠」の八尋不二のオリジナル脚本を「虚無僧変化」の弘津三男が監督した時代劇。「二十九人の喧嘩状」の牧田行正が撮影を担当した。

玉置家の六郷弾正により、奥州天堂藩は重要な土地を強奪されてしまった。家老の篠原兵之進は江戸に派遣されるが刺客により暗殺、一緒にいた娘の琴江は恐怖のあまり発狂してしまう。琴江の兄の兵馬は天堂藩士の御手洗伴次郎とともに老中の行列に直訴するが失敗し、危ういところを月太郎という男に救われた。天堂藩は大目付に土地強奪の件を訴えるが、そのことを知った弾正は大目付の暗殺を試みるものの、月太郎の活躍により失敗に終わった。正気に戻った琴江と兵馬は、月太郎の力を借りて父の仇を討とうとするのだが…。

【クレジット】

監督 弘津三男

製作 酒井箴

企画 浅井昭三郎

脚本 八尋不二

撮影 牧田行正

美術 西岡善信

音楽 渡辺浦人

出演 市川雷蔵

瑳峨三智子

林成年

中村玉緒

小町瑠美子